

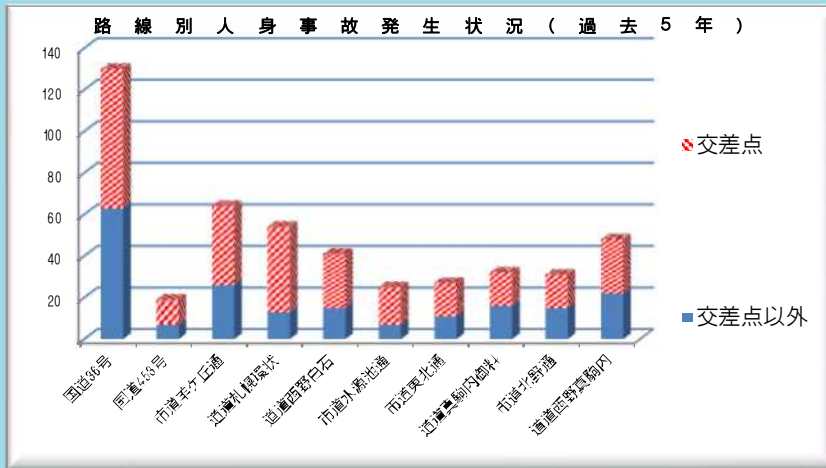
速度取締指針

豊平警察署の速度取締りの重点

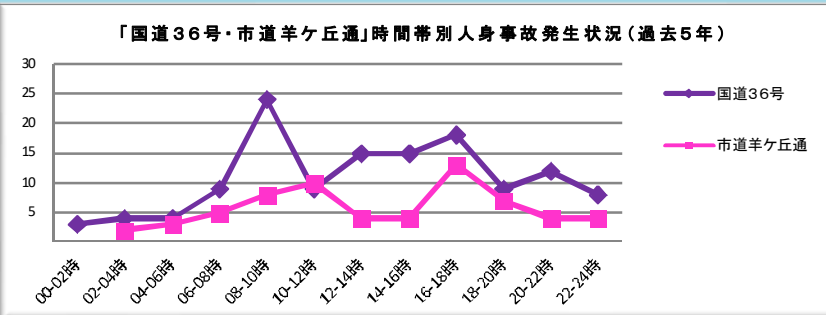
路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	8時～20時	市街地	指定速度(50km/h)
市道羊ヶ丘通	8時～20時	市街地	法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

札幌方面豊平警察署管内の交通事故実態等



○ 過去5年(1～3月)の人身事故発生状況を路線別に比較すると単一路線における事故総量及び交差点に起因する事故、交差点以外に起因する事故全てにおいて、国道36号での発生が最も多い。
次いで市道羊ヶ丘通での発生が多い状況である。



○ 過去5年(1～3月)の時間帯別人身事故発生状況について、国道36号は朝の通勤時間帯に事故が増加し、事故発生総量も当署管内で最も多い。
市道羊ヶ丘通は、16時から18時までの発生が多い。

道路交通環境

- ◆ 豊平警察署内の主要幹線道路は、北海道の大動脈である国道36号と清田区や北広島市の商業施設と繋がる片側3車線の市道羊ヶ丘通である。この2路線は曜日を問わず交通量が多く、それに伴い事故の発生が多い。
- ◆ 豊平警察署管内の郊外を通る路線は、道道真駒内御料札幌線があり、行楽シーズンは交通量が増え、それに伴い、実勢速度も上昇する。
- ◆ 豊平警察署の管轄区は、中央・南・白石・厚別区、北広島市と隣接しており、様々な目的の車が管轄区の国道・道道・市道を往来する。

～交通死亡事故発生状況～平成31年1月1日から令和元年12月末現在
7月に普通乗用と自動二輪車の出会い頭事故で1名が死亡。9月に軽四乗用と中型貨物の正面衝突で1名と二輪車の単独事故で1名が死亡。10月に歩行者と普通乗用の衝突で2名が死亡。

その他の交通指導取締りの要点

市街地における交差点違反、シートベルト違反等の取締りの強化

取締結果

- ◆ 平成31年1月1日から令和元年12月末まで豊平警察署管内における死亡事故は5件発生している。(前年対比+1件)
- ◆ 平成31年1月1日から令和元年12月末まで豊平警察署管内における人身事故は660件発生している。(前年対比+20件)